

11

## 三谷市民文化振興財団ニュース



四三

富士なくば  
富士とやいわん  
若狭なる  
青葉山の  
雪のあけぼの

八条宮初代智仁親王

表紙の言葉

# 「富士なくば 富士とやいわん 若狭なる 青葉山の 雪のあけばの」 ～八条宮初代智仁親王～

後醍醐天皇の弟君にあたる八条宮初代智仁親王（1579－1629）が、古今和歌の師である丹波国領主・細川藤孝（幽斎）から、狭富士の美しさを口授され、この歌を詠んだとされる。「もし日本に富士山がなかつたらば、他に富士の山と言えるものがありましようか、いやあります。夜明けに若菜の青葉山に雪が積もった姿は、すばらしくとよ」の意。

青葉山】  
福井県高浜町と京都府の境に位置する「青葉山」は、標高699m、別名「若狭富士」とも呼ばれ高浜の象徴として親しまれてい。泰澄大師が中山寺を開いた8世紀以来、行者達の厳しい修行の場であったとされ、近年では水上勉の小説「金閣炎上」の舞台にもなった。

# うるしの里会館 (城前漆器伝統産業会館)



漆が生活のすみすみに息づく越前福井ならではの文化施設「うるしの里会館（越前漆器伝統産業会館）」が、平成17年4月に新たにリニューアルオープンした。展示室では、歴史資料や製造工程、現代的な漆器の取り組みなど産地の特徴を知ることが出来る。職人工房では、工芸士会により漆器の木地・塗り・加飾などが実演され、ここで加工された漆器はミュージアムショップで販売されている。

くお問い合わせ先>うるしの里会館(越前漆器伝統産業会館)  
〒916-1221 福井県鯖江市西袋町40-1-2  
電話0778-65-2727

財団法人 三谷市民文化振興財団

〒910-8510 福井県福井市豊島1-3-1 三谷ビル  
TEL 0776-20-3188 FAX 0776-26-0714

財団法人三谷市民文化振興財団は、ボランティア活動、スポーツ活動、市民文化活動の支援を目的として作られた財団です。毎年5月に助成団体を広く募集しています。この遊楽彩券(毎年1回発行)は、県内で活躍する人やグループ、各地で企画されているイベントを紹介し、ボランティア活動、スポーツ活動、市民活動のネットワーク化、活性化の促進を目的としています。

<http://www.mitene.or.jp/m-zaidan/>

2020-12月発行

## 三谷市民文化振興財団の助成団体 様々な場面でイキイキと活動するグループを紹介します。



連絡先 「やよい会」事務局 TEL 0776-54-8275

「やよい会」は、子どもの不登校に悩む親たちが集まって講演会などを企画したのがきっかけで、18歳以下の不登校の子どもを持つ親の会として、1984年に発足した。年々増え続ける不登校や引きこもり。その本質的な問題を話し合う場として開かれる交流会では、克服した親からのアドバイスや体験談を聞くことができる。また、自身も不登校の子どもを持つ歌手・まのあけみ氏のコンサートや、実体験をもとに製作した映画「不登校の真実」のプロデューサー宮川正文氏の講演会なども開催している。さらに、ニートや引きこもり、登校拒否について考える「18歳以上の会」「福井・登校拒否を考える会」も運営し、子どもの不登校に悩む人たちの力になれればと交流の場を提供している。



連絡先 さくらこども図書室 TEL 0776-27-5555

福井市街地中心に位置する旧県立図書館に、県内初となる民間非営利団体（NPO）運営の図書館「さくらこども図書室」が開設されたのは、平成15年10月。当時、県立図書館の移転に際し、子どもたちが本に親しみ憩える空間を残したいという願いから、存続活動を続けてきた住民自らがNPO法人を設立し、現在もその運営に当たっている。

図書館では、毎月第2土曜日に「お話し会・手遊び会」、第4土曜日にはお話を先生を招いて読み聞かせや紙芝居などを行い、子どもたちが読書に親しみかけを提供している。そして、図書館は本と人とをつなげるだけでなく、親子での読書の楽しさを体験してもらえる空間にしたいと、展示や工作など様々な機会作りに取り組んでいる。

本と人とを結ぶ場所、人と人がふれあう場所  
特定非営利活動法人  
**さくらこども図書室**  
(福井市)

やよこ会 (福井市)

特定非営利活動法人

# 車屋 正昭

MASAAKI KURUMAYA



## 氣を放ち 間も音楽どき



### ●プロフィール

くるまや・まさあき／1949年福井市生まれ。福井県の伝統的打法「三ツ打ち」を継承する第一人者。高校卒業後、織維会社に入社するも和太鼓の魅力にとりつかれ退社。独学で太鼓道を学ぶ。1999年イギリスにて第8回ジャパンフェスティバルアワード受賞。英国大使公邸、フランス・カンヌでの日本文化フェスティバルなど世界各国で演奏活動を行う。2005年3月から福井豪雨の義援ライブを開催。今年10月に開催された「東京国際と太鼓カレッジ」の講師も務め、太鼓道の普及に尽力している。車屋正昭太鼓道場HP <http://www.1taiko.com/>

力強さだけない、なめらかな動きと音色。聴く人の腹の底を響かせる振動。軽快な動きから一転、途端にダイナミックなバチさばきに変身する。和太鼓表現者、車屋正昭さんのステージは、息をつかせぬ緊張感に満ちている。

美山町に道場を開く車屋さんのもとに、和太鼓に魅せられ、弟子入りを志願する人たちが門を叩きにやってくる。車屋さんの指導を受け、母国に戻りプロとしてツアーを組む外国人もいるほどだ。

こうして国内外から和太鼓の演奏を学びにやってくる人たちに対し、車屋さんは、和太鼓の魅力にとりつかれ退社。独学で太鼓道を学ぶ。1999年イギリスにて第8回ジャパンフェスティバルアワード受賞。英国大使公邸、フランス・カンヌでの日本文化フェスティバルなど世界各国で演奏活動を行う。2005年3月から福井豪雨の義援ライブを開催。今年10月に開催された「東京国際と太鼓カレッジ」の講師も務め、太鼓道の普及に尽力している。車屋正昭太鼓道場HP <http://www.1taiko.com/>

「太鼓道」、それは心で描き打ち込むことなんです。教室ではなく道場、つまり全身全霊で道を教える場なのだ。何かを学びとろうという意欲があれば、自然に礼を尽くすもの、とも強調する。

車屋さんの演奏のリズムは、福井の伝統技法「三ツ打ち」にのつとっている。祥の「三ツ打ち」は、地域性を大切にしてこそ伝統。福井が発祥の「三ツ打ち」を継承して世界に広めたい」と熱く語る車屋さん。そんな想いを込めて披露するステージには、常に新しい朗読との組み合わせなど、常に斬新なスタイルは、独自のアドリブ演奏だからできること。何ごとも相手との呼吸を合わせる「間合い」を掴むことが、和太鼓の、そして人生の奥義ともいえる。

## 5月15日

1301年、気比神宮を訪れた時宗2代目遊行上人が、参道がぬかるんで参詣に難儀していた様子を見て、海から自ら砂を運び参道を整備したという故事にちなんだ神事。松島町時宗西方寺から僧侶や檀家などが「御砂場」を経て気比神宮に行列し境内で砂をまく。時宗本山の法主が代替わりする年に行われる。最近では2005年5月に催された。

1301年、気比神宮を訪れた時宗2代目遊行上人が、参道がぬかるんで参詣に難儀していた様子を見て、海から自ら砂を運び参道を整備したという故事にちんだ神事。松島町時宗西方寺から僧侶や檀家などが「御砂場」を経て気比神宮に行列し境内で砂をまく。時宗本山の法主が代替わりする年に行われる。最近では2005年5月に催された。

### 時代を超えた魂の声を拾う！

「福井ルネサンス」  
3/19 (日) 14:00～  
ハーモニーホールふくい  
(福井市今市町)  
福井県出身の芥川賞作家「津村節子」氏が書き上げた創作オペレッタ。小浜市の山川登美子(歌人)、三国町の森田愛子(俳人)、丸岡町の今川節(作曲家)など、福井出身の文芸人たちの口マンを描く。第二部では、福井市の茶崎寺に伝わる国指定重要無形民俗文化財「仏舞」などを上演する。国民文化祭からの贈り物シリーズ第3弾。  
S席：4000円、A席：3000円  
(問) ハーモニーホールふくい  
■0776-38-8288

が発見される。「彼を殺せ」という町の人々の声とはうらはらに、少年を預かった獣医の妻・メレディスは、彼を溺愛する。さらには、獣医の娘・シェリーも彼に恋をしてしまいます。  
S席：7,800円、A席：6,500円  
(問) イッセイプランニング  
■076-444-6668



### 時空を超えて 交流コンサート

2/5 (日) 14:00～  
ハーモニーホールふくい  
(福井市今市町)  
朝比奈千足氏が指揮する神戸フィルハーモニックと福井交響楽団のオーケストラ、福井ソアベ児童合唱団の合唱、佐々木美季のオルガンが一堂に集う「ふるさとの日」記念コンサート。このコンサートのために結成された特別編成合唱団も参加し、多彩なステージを繰り広げる。国民文化祭からの贈り物シリーズ第2弾。  
全席指定：2000円  
(問) ハーモニーホールふくい  
■0776-38-8288



劇団四季ファミリーミュージカル  
人間になりたがつた猫  
3/8 (水) 18:30～  
ハートビア春江(坂井郡春江町)  
猫の目からみた人間の世界の怖さと晴柔らしさを感じながら、生きることの尊さを語りかけるファミリーミュージカル。人間の言葉をしゃべる猫・ライオネルの望みは人間になること。ある時、大の人間嫌いの魔法使いステファヌスは、罰としてライオネルを人間に

## 遊行のお砂持



## 福井の祝・り・風・習 2

敦賀市松島町・時宗西方寺～敦賀市疋町・気比神宮



## ゆぎょう すなもち

### 5月15日

1301年、気比神宮を訪れた時宗2代目遊行上人が、参道がぬかるんで参詣に難儀していた様子を見て、海から自ら砂を運び参道を整備したという故事にちんだ神事。松島町時宗西方寺から僧侶や檀家などが「御砂場」を経て気比神宮に行列し境内で砂をまく。時宗本山の法主が代替わりする年に行われる。最近では2005年5月に催された。

## 遊行のお砂持

### 5月15日

1301年、気比神宮を訪れた時宗2代目遊行上人が、参道がぬかるんで参詫に難儀していた様子を見て、海から自ら砂を運び参道を整備したという故事にちんだ神事。松島町時宗西方寺から僧侶や檀家などが「御砂場」を経て気比神宮に行列し境内で砂をまく。時宗本山の法主が代替わりする年に行われる。最近では2005年5月に催された。

## 遊行のお砂持

### 5月15日

1301年、気比神宮を訪れた時宗2代目遊行上人が、参道がぬかるんで参詫に難儀していた様子を見て、海から自ら砂を運び参道を整備したという故事